

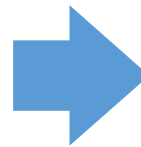
おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議の設置について

資料 1

2019年8月7日 大阪府

背景・目的

- アジア各国によるプラスチックごみの輸入規制により、国内における資源循環をさらに推進していく必要がある。
- 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン(2019.6)^{※1}を踏まえ、G20サミット開催地として海洋プラスチックごみ対策を推進すべき。



大阪府では、2019年1月に「おおさかプラスチックごみゼロ宣言^{※2}」を行い、プラスチックの資源循環や海洋プラスチックごみ対策の推進に向け、不断の取組みを行うことを宣言。

各主体(行政、事業者、府民、NPO)が取り組むべき事項を検討するため、関係者間で取組みの現状や課題について情報共有や意見交換を実施

※1 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン
G20大阪サミット終了後に、「G20大阪首脳宣言」が行われ、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指す世界共通のビジョンとして共有。

※2 おおさかプラスチックごみゼロ宣言(抜粋)
府民・市民や企業等と連携し、海洋プラスチック汚染の実態の正しい理解を深めるとともに、使い捨てプラスチックの削減や3R(リデュース、リユース、リサイクル)のさらなる推進、プラスチックごみのポイ捨ての防止、紙等のプラスチック代替品の活用など、プラスチックごみゼロに向け、自ら不断の取組みを行うことをここに宣言します。

構成メンバー

- ◎ 花田 真理子 (大阪産業大学大学院 教授)
- 原田 禎夫 (大阪商業大学 准教授)
- 日本チェーンストア協会関西支部
- 一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会
- 一般社団法人 全国清涼飲料連合会
- 特定非営利法人 ごみゼロネット大阪
- 市町村 (大阪市、堺市、吹田市、東大阪市、羽曳野市、熊取町)
- 大阪府 (事務局)

◎ …座長



論点(案)

課題	論点(案)
プラスチックの資源循環(3R)	<ul style="list-style-type: none">○ ペットボトル ⇒ リデュース、リサイクル○ プラスチック製レジ袋 ⇒ リデュース (有料化の法規制の動向を踏まえて)○ その他ワンウェイプラスチック(ストロー、カップ等) ⇒ リデュース
海洋プラスチックごみ対策	<ul style="list-style-type: none">○ 海洋プラスチック問題の正しい理解の促進○ プラスチックごみのポイ捨ての防止○ 紙等のプラスチック代替品の活用

【参考】令和元年度スケジュール

8月7日 第1回会議

12月(予定) 第2回会議

3月 中間とりまとめ(府)